

教育研究評議会議事録

平成29年2月8日（水）
15時30分から16時54分まで
法人本部第1会議室

議事

I 教育研究評議会議事録（1月11日開催）の確認

II 協議事項

- 1 平成29年度入学者における学生番号の付番について
- 2 国立大学法人山形大学経営協議会規程第3条第4号委員について

III 報告事項

- 1 第2期教育研究評価に係るヒアリングについて
- 2 中期計画の変更について
- 3 平成29年度各学部の教育目標及び3つのポリシーについて
- 4 就職内定状況（1月末現在）について
- 5 平成29年度入学者選抜志願状況について
- 6 オープンキャンパス2017の開催日について
- 7 山形大学次世代形成・評価開発機構規程の一部改正について
- 8 平成29年度YU-COE(C)形成支援に係る新規募集について
- 9 科研費獲得支援制度の見直しについて
- 10 経営協議会（1月23日開催）について
- 11 「国立大学協会総会」及び「文部科学省との意見交換会」（1月25日開催）について

IV その他

- 1 ディプロマ・サプリメントについて
- 2 次回開催（平成29年3月8日（水））

出席者

議長	小山清人	(学 長)				
評議員	安田弘法	久保田功	大場好弘	阿部宏慈	萩原 均	(理 事)
	清塚邦彦	是川晴彦				
	出口 毅	小川雅子				
	玉手英利	脇 克志				
	山下英俊	貞弘光章				
	飯塚 博	中島健介				
	林田光祐	村山秀樹				
	根本建二					
監 事	渡辺 均	竹内千春				

列席者

総務部長 企画部長 施設部長 教育・学生支援部長
小白川キャンパス事務部長 米沢キャンパス事務部長 飯田キャンパス事務部長
鶴岡キャンパス事務室事務長 総務部総務課長 財務部財務課長
エンrollment・マネジメント部EM企画課長

I 教育研究評議会議事録（1月11日開催）の確認

議長から、前回1月11日(水)開催の本会議の議事録（案）が確認され、議事録が確定した。

II 協議事項

1 平成29年度入学者における学生番号の付番について

大場評議員から、平成29年度入学者における学生番号の付番方法について、個人情報保護やセキュリティの観点から、資料1のとおり変更したい旨説明があった。

次いで、本件に関して、概ね以下のような質疑応答があった。

- ・ 今回の付番方法では、学生番号は重複しないのか。また、入学者選抜方法が類推されることはないのか。（中島評議員）
- ・ 番号は重複しないよう考慮しており、付番方法は各学部によって異なるため、入学者選抜方法が類推されることはないようにしている。（大場評議員）
- ・ 付番方法の変更に関して、詳細な情報が教員の間に浸透しておらず、不安な声が聞こえてくる状況にある。（清塚評議員）
- ・ 各学部毎での説明会を予定している。（大場評議員）
- ・ 学部内でこれまで議論した中で、今回の付番方法では、確認作業の際や教員側でソートする際に不備が生じるのではないかと懸念がある。そのため、限定的に試行するなどの方法を検討していただきたい。今回のように一気に全学で導入することは不安がある。（清塚評議員）
- ・ 出来るだけ従来どおりできるよう準備は進めており、各学部へはシミュレーションとして、昨年度入学者で付番したものを示して、ご理解いただけるよう進めていきたい。（大場評議員）
- ・ 個人情報を守る主旨は分かるが、かえってトラブルが生じるのではないかと思う。各学部へ詳細な情報を示していただくとともに、試行した上で全学に展開するなど、導入へ向けたステップを示していただきたい。（清塚評議員）

- ・付番する際、万が一、学生番号がずれてしまった場合、学生番号と個人が合っているかチェックがしづらいという特性があると考え。その点、どのように検討されているのか。(山下評議員)
- ・ソフトウェアでの確認とともに、他の確認方法についても検討させていただく。(大場評議員)
- ・学生番号をランダムにする際には、名前と学生番号が合っているのかを常時確認するチェックシステムを導入する必要があると考え。(山下評議員)
- ・従来の五十音順でのソートも簡単にできるようになっているのか。(貞弘評議員)
- ・ソフトウェアでソート出来るよう準備を進めている。(大場評議員)
- ・学生同士で学生番号から個人を特定することは難しくなるのか。(貞弘評議員)
- ・特定は難しくなる。(大場評議員)
- ・従来の五十音順から変更になるため、現場は慣れるまでは大変だと思う。(貞弘評議員)
- ・学生間で入学者選抜方法が推測される可能性はないか。(林田評議員)
- ・完全に暗号化するためにランダムでの付番を検討していたが、平成29年度は既存の方法を活かした形で付番する方向となった。(大場評議員)
- ・今回の変更で何を守るのかということになると思うが、従来では、五十音順のため、学生番号から名前を推測できる可能性はあったが、今回の付番方法では、学生間で入学者選抜方法が推測できる可能性があるのであれば、大きな懸念であると考え。(林田評議員)
- ・学生間に限らず、学生番号から入学者選抜方法が分かるようになるのではないかと入学選抜方法を知られたくない学生もいるため、再度検討願いたい。(中島評議員)
- ・慎重に検討させていただく。(大場評議員)
- ・後期日程の関係から、付番が大変なことは認識しているが、ある程度のところまでランダムな方法を含んだ形にするなど、ご検討いただきたい。(中島評議員)

次いで、議長から、本件について諮られた結果、上記意見を踏まえ、再度検討することとされた。

2 国立大学法人山形大学経営協議会規程第3条第4号委員について

議長から、本学経営協議会規程第3条第4号に規定する学外委員については、本法人の役員又は職員以外の者で大学に関し広くかつ高い識見を有するもののうちから、教育研究評議会の意見を聴いて学長が任命するものである旨説明があり、今年度末で学外委員の任期が満了となることから、次年度の学外委員候補者を資料2のとおり選考した旨説明があった。

次いで、議長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

III 報告事項

1 第2期教育研究評価に係るヒアリングについて

久保田評議員から、平成29年1月20日に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構において行われた第2期教育研究評価に関するヒアリングの際の説明資料について、資料3に基づき報告があった。

- 2 中期計画の変更について
久保田評議員から、平成29年1月11日開催の本会議で了承された中期計画の変更について、文部科学省との調整の結果、資料4のとおり修正を行った旨報告があった。
- 3 平成29年度各学部の教育目標及び3つのポリシーについて
安田評議員から、平成28年5月11日開催の本会議で報告した各学部の教育目標及び3つのポリシーについて、各カリキュラムが各ポリシーと合致されているかカリキュラムチェックリスト等に基づき確認作業を行い、資料5のとおり取りまとめた旨報告があった。
- 4 就職内定状況（1月末現在）について
安田評議員から、1月31日現在の就職内定状況について資料6に基づき報告があり、各学部・研究科等における内定状況や傾向について委細説明があった。
- 5 平成29年度入学者選抜志願状況について
大場評議員から、平成29年度一般入試の出願受付の結果、資料7-1のとおりとなった旨報告があり、資料7-2～7-4に基づき過去3ケ年度の志願者数の推移等について説明があった。
なお、資料7-3、資料7-4については、非公表とすることとし、会議終了後回収された。
- 6 オープンキャンパス2017の開催日について
大場評議員から、来年度の各キャンパスにおけるオープンキャンパスの開催日について、資料8のとおり決定した旨報告があり、平成29年度入学者選抜志願状況の結果を踏まえ、入試対策を検討していきたい旨説明があった。
- 7 山形大学次世代形成・評価開発機構規程の一部改正について
大場評議員から、平成29年1月24日開催の役員会において、山形大学次世代形成・評価開発機構に置く組織について、組織の規模等に合わせ組織名称を変更するため所要の改正を行った旨、資料9に基づき報告があった。
- 8 平成29年度YU-COE(C)形成支援に係る新規募集について
久保田評議員から、平成29年度YU-COE(C)に係る形成支援募集要領の支援内容及び募集条件並びに応募方法について、資料13のとおり変更を行った旨報告があった。
続いて、議長から、出来るだけ多く応募していただくようお願いしたい旨付言があった。
- 9 科研費獲得支援制度の見直しについて
久保田評議員から、科研費獲得支援制度及びアドバイザー制度並びに研究支援者（特別研究員）について、資料14のとおり変更を行った旨報告があった。
- 10 経営協議会（1月23日開催）について
議長から、平成29年1月23日に開催された経営協議会について、資料10-1の議事に基づき、審議等を行った旨報告があり、続いて萩原評議員から、平成29年度山形大学予算編成について、本学を取り巻く状況及び本学における財政の現状と課題等について説明の後、本学の予算編成方針について、資料10-2に基づき報告があった。

次いで、本件に関して、概ね以下のような質疑応答があった。

- ・設備関係予算は、なかなか配分が見込めないため、今後はPFIの活用など何らかの事業を行っていかないと4つのキャンパスの老朽化など必要な部分に対応できないと考えられる。そろそろ、このような点も視野に入れて経営していかねばならない時期に来ていると思う。外部資金についても、簡単に獲得することは難しい状況にあるので、是非ご検討いただきたい。(山下評議員)
- ・学生寮のPPP活用など、今後さらに検討する方向である。(萩原評議員)

- ・定員超過の抑制に対する対応は、大規模学部となる工学部では調整が難しい状況にある。万が一、基準定員超過率を超えた場合には、本学の予算はどのくらい減額されるのか。(中島評議員)
- ・基準定員超過率に係る入学生数を超える入学生分の授業料収入相当額を国庫納付することになる。(萩原評議員)

- ・教員研究費は学術研究院長が配分するとあるが、直接教員に配分されるのか。
(中島評議員)
- ・キャンパス長へ人数に応じて配分されることとなる。(萩原評議員)

- ・授業料の金額変更や定員超過の件など、大学関係の政策に関する情報を各部局へ共有するようにしていただきたい。(山下評議員)

- ・各学部の教育プログラムによって、必要とするコストに幅がある状況の中で、収入と支出の管理が難しく、各教育プログラムに対する判断を下すのは非常に難しいものである。また、物件費における戦略的対話については、状況によって随時行えるようにしていただきたい。(玉手評議員)

- ・質の高い教育というのは、教育プログラムにおけるコスト管理も含めた評価基準となるのか。(玉手評議員)
- ・中期目標などに対する取り組みとの関係になると考える。(萩原評議員)

11 「国立大学協会総会」及び「文部科学省との意見交換会」(1月25日開催)について

議長から、平成29年1月25日に開催された国立大学協会総会の主な審議内容等について説明があり、続いて萩原評議員から、文部科学省との意見交換会における地方創生推進交付金の概要について資料11に基づき報告があった。

IV その他

1 ディプロマ・サプリメントについて

安田評議員から、平成28年9月14日開催の本会議で報告した大学教育再生加速プログラムの採択にあたり、本学におけるディプロマ・サプリメントの実施概要について、資料12に基づき報告があった。

2 次回開催(平成29年3月8日(水))

今回は、平成29年3月8日(水)に開催することとなった。

配付資料

議事

- 前回 (平成29年1月11日(水)開催) 議事録
- 資料1 平成29年度の学生番号について
- 資料2 国立大学法人山形大学経営協議会規程第3条第4号委員について
- 資料3 第2期中期目標期間の取組状況等について
- 資料4 国立大学法人山形大学の中期計画新旧対照表
- 資料5 各学部のDP, CP, AP
- 資料6 平成28年度卒業・修了予定者の内定状況調
- 資料7-1 平成29年度山形大学一般入試入学者選抜志願状況「確定」
- 資料7-2 過去3ヶ年度の山形大学一般入試確定志願者数
- 資料7-3 平成29年度一般入試(前期日程・後期日程)志願者出身県 ※回収資料
- 資料7-4 平成29年度一般入試(前期日程)志願者出身県学部別前年比 ※回収資料
- 資料8 オープンキャンパス2017の開催日について
- 資料9 山形大学次世代形成・評価開発機構規程の一部改正について
- 資料13 平成29年度YU-COE「山形大学先進的研究拠点(C)」形成支援募集要領
- 資料14 科研費獲得支援制度の見直しについて
- 資料10-1 経営協議会議事(平成28年度第5回)
- 資料10-2 平成29年度山形大学予算編成について
- 資料11 一般社団法人国立大学協会平成28年度第3回通常総会議事次第
- 資料12 大学教育再生加速プログラム「高大接続改革推進事業」